

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	八千代市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	R7年1月10日 ～ R7年3月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54 (回答者数)	34
○従業者評価実施期間	R7年3月2日 ～ R7年3月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	R7年1月10日 ～ R7年3月19日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	24 (回答数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	継続的に利用している保育施設が増えた事で、事業内容の理解が得られ、情報を共有しながら実施することができている。	当日の様子を見学した後、担任の先生と話す時間を設けて、日頃の様子も確認しながら、支援の方向性を一緒に考えている。	担当が1名で年間の実施回数は1名につき2～3回（1学期に1回程度）だった。回数を増やすためにできる事を検討していきます。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実施回数が少ない	利用者54名に対して担当が1名だったので、1人につき2～3回の実施に留まり、回数が不足した。	専属人数を増やせる体制ができるよう人員要望をしていきます。
2	保護者の意見を聞き取る機会が少ない	保護者との連絡は文書で行っていたため、ご意見を聞き取る機会、保護者からの問い合わせや、相談の電話、窓口書類を届けて頂いた際に声をかける等限られ、体系的に意見を聞き取る仕組みが未整備であった。	今後どのような形で保護者の意見を聞き取るか検討していきます。
3			